

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院泌尿器科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

転移性腎癌に対する分子標的薬単独治療の治療成績に関する後方視的研究

2. 対象となる方

2010年1月～2020年12月に当院泌尿器科で、転移性のある胃癌に対し第一次治療（他の薬物治療の既往がなく*、最初に投与）として、分子標的薬単独**による治療を受けられた患者さん

*インターフェロン α 注射治療は含みません

**使用した薬剤名は、スーテント[®]、ネクサバル[®]、インライタ[®]、ヴォトリエント[®]、トーリセル[®]のうちいずれかです。

3. 研究の目的

分子標的薬の単独投与による治療は転移のある胃癌に対する第一選択治療として標準的な治療でしたが、現在は免疫チェックポイント阻害剤を使用した治療が主流となってきています。その現代において分子標的薬治療の意義を検討する目的で行った研究です。

4. 研究期間

2022年1月（倫理審査委員会承認後）～2022年1月31日（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

次の診療情報：性別、治療開始時の年齢、手術の有無、転移の部位、治療開始時の血清CRP（C-反応性蛋白）値やカルシウム値、血小板値などの血液データ、投与した薬剤名、治療開始日、治療終了日、治療による副作用、副作用発生時の対応など

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院泌尿器科 部長 別宮 謙介

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院泌尿器科 別宮 謙介